

令和3年度第2回岩手県発達障がい者支援体制整備検討委員会・広域特別支援連携協議会

県教育委員会事務局学校教育室資料

令和3年度いわて特別支援教育推進プラン等施策の取組状況について

平成31年3月に策定した「いわて特別支援教育推進プラン」に基づき、「つなぐ」、「いかす」、「支える」の三つのキーワードごとの施策の方向性と具体的施策により「共に学び、共に育つ教育」の推進を図り、すべての人が互いを尊重し、心豊かに主体的に生活することのできる共生社会の実現を目指す。

令和3年度における推進状況 ★新規・重点施策 ○継続施策

つなぐ ～就学から卒業までの一貫した支援の充実～

★「教育支援のためのガイドライン」に基づく早期からの教育相談・支援

☑「市町村教育支援担当者研修会」の実施【済】

令和3年5月17日（月）総合教育センターを会場に実施した。県内各市町村教育委員会に教育支援の進め方に関する資料送付及び指導主事会議等での説明等を繰り返し行っている。

☑教育支援に係るリーフレット等の作成・活用による、就学や福祉に関する保護者への事前の情報提供・就学支援【取組中】

各市町村等において就学に関するリーフレット等の作成・活用が進められてきている。市町村の実情を踏まえながら福祉に関する情報を盛り込んだり、ホームページで広く周知したりと、年々充実した取組となってきている。

★引継ぎシート等の活用による継続した支援

☑引継ぎシートの取組【取組中】

学校間や学校と医療機関をつなぐ「引継ぎシート」（令和2年度開発）及び「引継ぎシート作成・活用ガイドブック」について、令和2年4月6日に関係機関等に送付し、活用について周知を図った。また、指導主事会議等で繰り返し周知を図っている。

「引継ぎシート」を活用した小学校から中学校への引継ぎ、中学校から高等学校への引継ぎは、令和3年度中学校・高等学校入学生から行っており、学校から医療・福祉機関等への引継ぎは、必要が生じた際に速やかに活用するものとしている。

★特別支援学校等と地域企業等との連携

☑企業との連携協議会の実施【取組中】

事業所・企業に特別支援学校や障がいのある生徒への理解促進・就労への協力等を得るために、地域の特別支援学校と企業との連携協議会を設立し、年2回程度開催した。

今年度から新たに二戸地区に企業との連携協議会を設置し、全県で9地区 107社・事業所等の協力を得ながら取り組んでいる。

地区名	担当学校名	参加企業・事業所数
盛岡	盛岡峰南高等支援、盛岡みたけ支援、盛岡ひがし支援	27
花巻・北上・遠野	花巻清風支援	14
奥州	前沢明峰支援	9

一関	一関清明支援	38
大船渡・陸前高田	気仙光陵支援	10
釜石	釜石祥雲支援	19
宮古	宮古恵風支援	18
久慈	久慈拓陽支援	23
二戸	盛岡みたけ支援二戸分教室	33

※令和3年12月末現在 延べ数

☑サポーター企業の周知・表彰【取組中】

特別支援学校高等部に在籍する生徒の就業体験等の受入れ支援を行っている企業（令和3年10月30日現在 123企業等）を県民に広く周知するとともに、登録から5年間継続して支援をいただいている企業等に対して感謝状を贈呈した。

○特別支援学校技能認定会を活用した教育活動

☑特別支援学校技能認定会の実施【済】

特別支援学校高等部生徒の働くために必要な技能や態度、意欲などの向上を図るとともに、企業や関係機関の生徒理解や実習及び雇用機会の拡大を図ることを目的に、平成29年度から技能認定会を実施している。今年度から県内4会場での分散開催とし、より地域に根差した事業となるように進めた。

〔二戸・盛岡会場〕 令和3年11月10日（水） 盛岡タカヤアリーナ

- ・技能認定種目 事務補助、清掃
- ・参加者 二戸・盛岡地区特別支援学校高等部生徒 54名
- ・協力企業等 21企業等 ※審査員として協力

〔中部・県南会場〕 令和3年11月10日（水） 県南青少年の家

- ・技能認定種目 事務補助、清掃
- ・参加者 花巻清風・前沢明峰・一関清明支援学校高等部生徒 25名
- ・協力企業等 8企業等 ※審査員として協力

〔沿岸北部会場〕 令和3年7月16日（金） 宮古市民体育館シーアリーナ

- ・技能認定種目 総合実務
- ・参加者 宮古恵風・久慈拓陽支援学校高等部生徒 23名
- ・協力企業等 13企業等 ※審査員として協力

〔沿岸南部会場〕 令和3年11月26日（金） 気仙光陵支援学校

- ・技能認定種目 清掃
- ・参加者 気仙光陵・釜石祥雲支援学校高等部生徒 10名
- ・協力企業等 6企業等 ※審査員として協力

つなぐ ～就学から卒業までの一貫した支援の充実～

【成果】

- ・市町村における教育支援に係るリーフレットや、引継ぎシート等の作成・活用など、就学前及び就学移行期に焦点を当てた具体的施策を展開し、教育上特別な支援を必要とする幼児児童生徒への指導内容や支援方法が進級や進学先等へ引き継がれることによる、一貫した支援の充実につながってきている。
- ・企業との連携協議会参加企業やサポーター登録企業の増加、4地域における特別支援学校技能認定会の開催など、卒業後の進路・就労支援、卒業後生活支援について、より地域の企業や福祉機関等との情報共有を図ることのできる取組となった。

【課題】

- ・本県が進めている具体的施策について周知に努め、各圏域・市町村の実情に応じて、関係機関等との連携を密にしながら、取組の成果や課題を整理し、早期からの継続した教育支援体制の構築につなげること。

いかす ～各校種における指導・支援の充実～

○継続型訪問支援・随時相談支援を活用した指導・支援

☑継続型訪問支援・随時相談支援の実施【取組中】

小中学校の特別支援学級、幼稚園（保育所、認定こども園含む）80校園を対象に、年間3回程度の継続型訪問支援を実施している。

そのほか、特別支援学校による地域支援の一環として、すべての校園を対象に随時相談支援を実施している。

★地域における特別支援教育コーディネーター連絡会を活用した指導・支援

☑特別支援教育コーディネーター連絡会による研修等の実施【取組中】

県内6地区において特別支援学校と小中学校等の特別支援教育コーディネーターを対象とした研修会を実施した（盛岡中央地区については、代替措置実施）。

今年度においては、感染症拡大防止の観点から内容や会場の調整、参加対象の限定等、可能な限り運営を工夫しながら実施した。

〔盛岡北地区〕令和3年8月5日（木）盛岡視覚支援学校 参加者 18名
講 義「児童生徒の見立てと支援、関係機関との連携のあり方」
岩手県社会福祉士会 子ども家庭学校委員会担当理事 坂口 繁治氏

〔盛岡中央地区〕令和3年4月27日（火）都南公民館 参加者 85名
説 明「特別支援教育の推進について」
盛岡市教育委員会学校教育課（主任）指導主事より説明

〔盛岡南地区〕令和3年8月2日（月）盛岡ひがし支援学校 参加者 27名
講 義「学校教育に求められること～医療の現場から～」
未来の風せいわ病院 理事長 智田 文徳氏

〔中部・県南地区〕令和4年1月7日（金）3会場によるサテライト開催
一関清明支援学校 参加者 27名
前沢明峰支援学校 参加者 21名
花巻清風支援学校 参加者 33名
講 義「将来（就労）に向けて今できること」

岩手障害者職業センター 主任障害者職業カウンセラー 菊池 麻由氏
〔沿岸3地区〕令和3年12月6日（月）大槌町文化交流センターおしゃっち 参加者 50名
講 義「通常の学級における特別支援教育の推進～授業づくりと教師支援のポイント」
岩手大学教育学部特別支援教育科 准教授 鈴木 恵太氏

〔県北地区〕令和3年8月4日（水）二戸地区合同庁舎 参加者 36名
基調説明「特別支援教育コーディネーターについて」
久慈拓陽支援学校 教諭兼指導主事 梅野 佳和
パネルディスカッション「特別支援教育コーディネーターの実際について」
司会 岩手大学教育学部特別支援教育科 准教授 鈴木 恵太氏
パネリスト
洋野町立宿戸小学校 教諭 小豆嶋 睦美氏
二戸市立金田一小学校 教諭 後藤 賢子氏
軽米町立晴山小学校 教諭 藤本 未央氏

☑特別支援教育中核コーディネーターの養成・委嘱、活用【取組中】

地域における特別支援教育の推進的役割を担う小中学校等の教員が、各教育事務所長から特別支援教育中核コーディネーターの委嘱を受け、特別支援学校の特別支援教育コーディネーターと連携を図りながら各校の支援に携わっている（令和3年12月末現在34名）。

特別支援教育中核コーディネーターの専門性向上を図るため、本県と事業連携協定を締結している塩野義製薬株式会社との共催により研修会を開催した。

〔特別支援教育中核コーディネーター研修会〕

令和3年9月21日（火）岩手県立生涯学習推進センター 参加者29名

講義・演習「WISC-IV知能検査の実施法」

令和3年9月22日（水）岩手県立生涯学習推進センター 参加者31名

講義・演習「WISC-IV知能検査結果の解釈と支援」

NPO法人LD・Dyslexiaセンター顧問、放送大学客員教授

大 六 一 志 氏（WISC-IV知能検査日本版刊行委員）

〔ティーチャーズトレーニング研修会〕

令和3年10月29日（金）オンデマンド 研修者79名

講 義「ティーチャーズ・トレーニング～子どもへの関わり方の基本～」

まめの木クリニック・発達臨床研究所

心理士 庄 司 敦 子 氏

令和3年11月29日（月）オンライン 参加者79名

講義・協議「ティーチャーズ・トレーニング～実践の報告とポイントの確認～」

まめの木クリニック・発達臨床研究所

心理士 庄 司 敦 子 氏

○エリアコーディネーターの配置・運用

☑エリアコーディネーターの配置・運用【取組中】

各教育事務所内の特別支援学校1校、合計6名を配置し、地域の特別支援教育の推進に向けて、教育事務所や市町村教育委員会業務への支援、関係機関や関係者との連絡・調整に関する支援を行っている。

・対応延べ件数：492件（内訳 支援・教育相談関係：271件 研修関係：221件）

※令和3年12月末現在

○各校種や地域の実情・ニーズに応じた研修

☑特別支援教育支援員スキルアップ研修会

令和3年7月27日（火） ふれあいランド岩手 参加者82名

☑高等学校特別支援教育コーディネーター研修

令和3年6月28日（月） 総合教育センター 参加者76名

★特別支援学級・通級による指導担当教員を対象とした継続的な研修

☑継続型ステップアップ研修の実施【済】

特別支援教育新任担当、2年目担当、3年目担当（令和2年度から）を対象とした継続型の研修を実施し、修了者35名に特別支援教育担当A級を認定した。そのほか、申請者7名に特別支援教育担当A級、申請者1名に特別支援教育SVを認定した。

- 【1年目】特別研修（新任研修）「担任・担当としての基礎力形成」
 - ア 特別支援教育担当ステップアップ研修講座Ⅰ（前期）・・・教育事務所実施
 - イ 特別支援教育担当ステップアップ研修講座Ⅰ（後期）・・・総合教育センター実施
 - ウ その他
希望研修として、特別支援教育新任担当教員研修講座（スタート研）を年度当初に実施
- 【2年目】特別研修（教職専門等研修）「担任・担当としての実践力向上」
 - ア 特別支援教育担当ステップアップ研修講座Ⅱ・・・総合教育センター、特別支援学校実施
- 【3年目】特別研修（教職専門等研修）「学校組織による特別支援教育の推進」
 - ア 特別支援教育担当ステップアップ研修講座Ⅲ・・・総合教育センター実施

★すべての校種における交流及び共同学習

☑「交流籍」を活用した交流及び共同学習の円滑な実施【取組中】

特別支援学校の小・中学部に在籍する児童生徒が、居住する地域との関わりを充実させるために、居住する地域の小・中学校に副次的な籍である「交流籍」を位置付け、居住地校との交流及び共同学習を推進している。

小・中学部を設置しているすべての県立特別支援学校から、年度当初329名（前年比15名減）の申請があり、各校や児童生徒の実情に即した取組を進めている。

☑各年齢段階での交流及び共同学習の実施【取組中】

幼稚園段階においては、特別支援学校に通学する幼児と近隣幼稚園等や居住地の幼稚園等との交流及び共同学習を実施している。高等学校段階においては、特別支援学校と近隣高等学校との交流及び共同学習を実施するとともに、スポーツ・文化芸術活動を通じた交流及び共同学習についても取組を広げていく。

いかす ～各校種における指導・支援の充実～

【成果】

- ・今般の感染症拡大防止に努めながら、可能な限りすべての校種における特別支援教育体制への支援、相談体制の整備等に焦点を当てた具体的施策を展開し、地域資源を活用した指導・支援の改善に努め、教育上特別な支援が必要な支援を必要とする幼児児童生徒の学習や生活の充実につなげることができた。
- ・各校種の特別支援教育の推進を支える教職員の専門性の向上について、地域のニーズや現状等を踏まえ、関係機関との連携を図りながら必要な研修会に取り組むなどの具体的施策を展開することができた。

【課題】

- ・適時性・継続性等の視点による、校内での一次支援、近隣校や関係教育委員会等による二次支援、特別支援学校等による三次支援が機能するよう、各圏域・市町村の取組の成果を共有し、より各圏域や地域の実情に応じた特別支援教育中核コーディネーターを活用した支援体制を構築していくこと。
- ・教職員の専門性の向上についての研修内容については、教職員や地域のニーズや現状等を踏まえ、内容の見直しを図りながら充実した内容となるよう取り組んでいくこと。

支える ～教育環境の充実・県民理解の促進～

★特別支援学級・通級指導教室の総合的観点による整備

☑特別支援学級・通級指導教室の整備推進【済】

特別支援学級の状況（令和3年5月1日現在）

（単位：人、学級）

障がい種別	小学校・義務教育学校前期課程				中学校・義務教育学校前期課程				計			
	児童数	前年度比	学級数	前年度比	生徒数	前年度比	学級数	前年度比	児童生徒数	前年度比	学級数	前年度比
弱視	7	-1	8	1	3	0	3	0	10	-1	11	1
難聴	32	1	21	1	11	-2	9	-1	43	-1	30	0
知的障がい	954	71	269	10	433	19	129	1	1,387	90	398	11
肢体不自由	33	-3	25	3	20	6	15	3	53	3	40	6
病弱・身体虚弱	43	8	28	5	20	7	16	5	63	15	44	10
自閉症・情緒障がい	855	70	247	4	424	41	127	9	1,279	111	374	13
計	1,924	146	598	24	911	71	299	17	2,835	217	897	41

通級指導教室の状況（令和3年5月1日現在）

（単位：人、教室）

障がい種別	小学校・義務教育学校前期課程				中学校・義務教育学校前期課程				計			
	児童数	前年度比	教室数	前年度比	生徒数	前年度比	教室数	前年度比	児童生徒数	前年度比	教室数	前年度比
難聴・言語障がい	1,113	-75	87	0	5	1	1	0	1,118	-74	88	0
LD等	177	-6	16	0	88	13	12	0	265	7	28	0
計	1290	-81	103	0	93	14	13	0	1,483	-67	116	0

○特別支援教育支援員等の総合的観点による配置

☑特別支援教育支援員等の配置【済】

県立高等学校 37 校に 37 名の特別支援教育支援員を配置し、特別な支援を必要とする生徒への学習や生活上の支援にあたっている。

○外部専門家の活用

☑スクールソーシャルワーカー等による福祉機関等とのネットワーク活用【取組中】

各教育事務所にスクールソーシャルワーカー21名を配置し、問題行動等の未然防止・早期発見及び関係機関等との連絡・調整等を行っている。

県立学校については、岩手県社会福祉士会に業務を委託し、各学校の依頼による出張相談・電話相談を行っている。

☑スクールカウンセラーによる心のケア【取組中】

各学校にスクールカウンセラーを派遣し、心理的な不安等を抱える児童生徒及び教職員、保護者等への支援の充実を図っている。

☑特別支援学校等における各種技能士等の活用【取組中】

各校の教育課程等を踏まえた要望により、理学療法士・作業療法士・言語聴覚士、視機能訓練士等を派遣し、教育活動の充実につなげている。

配置人数	年間時数
21名	798時間

★特別支援学校の整備推進

☑特別支援学校整備計画の策定と推進【取組中】

令和3年5月に策定した特別支援学校整備計画に基づき、特別支援学校の教育環境の整備について推進している。

特別支援学校の状況（令和3年5月1日現在）

（単位：人、学級）

学校名		幼稚部		小学部		中学部		高等部		専攻科		合計	
		幼児	学級	児童	学級	生徒	学級	生徒	学級	生徒	学級	生徒	学級
県立	盛岡視覚支援			8	5	2	2	10	5	7	4	27	16
	盛岡聴覚支援	6	3	7	3	11	3	21	8	2	1	47	18
	盛岡となん支援			66	24	41	14	26	11			133	49
	盛岡青松支援			6	3	13	4	19	8			38	15
	盛岡峰南高等支援							103	12			103	12
	盛岡みたけ支援			81	22	43	12	55	11			179	45
	同奥中山校			11	4	9	4					20	8
	盛岡ひがし支援			57	15	36	9	46	9			139	33
	花巻清風支援			56	18	46	15	82	12			184	45
	前沢明峰支援			32	11	28	7	78	13			138	31
	一関清明支援	3	2	56	22	45	18	63	16			167	58
	気仙光陵支援			19	7	8	3	38	6			65	16
	釜石祥雲支援			24	9	14	6	37	7			75	22
	宮古恵風支援			19	7	19	5	40	10			78	22
久慈拓陽支援			24	8	17	5	38	7			79	20	
小計		9	5	466	158	332	107	656	135	9	5	1472	410
国立	岩大附属			15	3	16	3	22	3			53	9
私立	三愛学舎							33	3	25	2	58	5
小計				15	3	16	3	55	6	25	2	111	14
合計		9	5	481	161	348	110	711	141	34	7	1583	424
増減(前年度比較)		-1	+1	-9	+1	+1	-3	+9	-2	-1	0	-1	-3

○医療的ケア児に係る看護師の配置

☑特別支援学校における看護師の配置【済】

10校44名の医療的ケアが必要な児童生徒を対象に、看護師47名を任用して対応している。

○県民向け公開講座

☑県民向け公開講座や広報活動の実施【済】 ※両日ともオンラインで開催

・子ども未来支援セミナー

〔DAY1〕 令和3年10月10日（日） 参加者57名

講演「子どもも親も幸せになる 発達に課題がある子の育て方

～全ての保護者に知って頂きたいこと～

著述家

立石美津子氏

〔DAY2〕 令和3年10月17日（日） 参加者51名

講演「見えない障害と生きる」

東海テレビ放送報道部 記者/ディレクター 桑山知之氏

・いわてこども発達支援サポートブック

各種研修会や会議等における紹介、ポスターの掲示等

○特別支援教育サポーター養成

☑特別支援教育サポーター養成講座の開催【済】

今年度は、盛岡峰南高等支援学校、前沢明峰支援学校、久慈拓陽支援学校の3校において、特別支援教育サポーター養成講座（全8回）を開催し、特別支援教育に関する県民の理解及び地域とともにある学校づくりにつなげた。

〔盛岡峰南高等支援学校〕

開催回数	参加延べ人数	修了生数	ボランティア登録者
8回	194名	25名	10名

〔前沢明峰支援学校〕

開催回数	参加延べ人数	修了生数	ボランティア登録者
8回	111名	15名	12名

〔久慈拓陽支援学校〕

開催回数	参加延べ人数	修了生数	ボランティア登録者
8回	117名	17名	12名

★スポーツ活動、文化芸術活動を通じた生きがづくり、地域とのつながりづくり

☑岩手県特別支援学校作品展等の周知【済】

関係機関への案内文書のほか、広報誌等を通じて広く周知した。

令和3年11月19日（金）～23日（火） 盛岡地域交流センター「マリオス」

☑各団体等と連携した事業の実施【取組中】

県文化スポーツ部、県教育委員会事務局において各種事業を実施し、幅広い分野のスポーツ活動、文化芸術に親しみ、生涯を通じてスポーツを楽しむ機会を広げた。

文化振興課

- ・いわてアール・ブリュット巡回展 2021
 - 〔県南会場〕 令和3年10月21日（木）～11月3日（水）江釣子ショッピングセンターPAL
 - 〔県北会場〕 令和3年11月13日（土）～11月28日（日）久慈市文化会館（アンバーホール）
 - 〔沿岸会場〕 令和3年12月4日（土）～12月17日（金）陸前高田市コミュニティホール
 - 〔県央会場〕 令和4年1月15日（土）～1月30日（日）イオンモール盛岡
- ・いしがきミュージックフェスティバル 2021【中止】
- ・障がいのある人の創作・表現活動支援に関する研修会～福祉的支援からアート支援へ
 令和3年7月21日（水）岩手県高校教育会館・WEB
 講師 しゃかいのくすり研究所 代表
 るんびにい美術館 アートディレクター 板垣崇志氏
- ・障がいのある人の創作・表現活動支援に関する研修会～しる・つながる・ひろがる～
 令和3年8月6日（金）（社福）岩手県社会福祉事業団・WEB
 講師（特非）100年福祉会 片山工房 理事長 新川修平氏
 （社福）盛岡市民バンク 3Rセンターハート店 店長 阿部美春氏
- ・第29回岩手県障がい者文化芸術祭
 令和3年11月11日（木）～11月28日（日）ふれあいランド岩手
- ・創作活動に関する権利保護研修会
 令和3年12月8日（水）いわて県民情報交流センター アイーナ
 講師 石川法律事務所 弁護士 松岡佑哉氏
- ・外部有識者による協力委員会
 年間2回開催

スポーツ振興課

- ・スポーツ教室

教室名	実施回数	備考
ボッチャ教室	2	
グランドゴルフ教室	4	
登山教室	2	
ハンドバイク教室	1	
キャンプ体験教室	1	
ゲートボール教室	2	
卓球バレー教室	2	
スキー交流会	1	
ボウリング交流会	2	
STT 教室	2	
ウォーキング	2	※雨天の際は室内で実施できる競技

- ・障がい者スポーツ指導員養成
障がい者スポーツ指導員養成講習会（初級障がい者スポーツ指導員養成講習会、中級障がい者スポーツ指導員養成講習会、フォローアップ研修会）を開催
- ・卓球バレー交流大会開催事業
〔内陸会場（盛岡）〕 令和3年10月17日（日）
〔県北会場（久慈）〕 令和3年10月31日（日）
〔沿岸部会場（大船渡）〕 令和3年12月4日（土）

- ・岩手県障がい者スポーツ大会

月日	種目	会場
令和3年5月16日（日）	ボッチャ	ふれあいランド岩手
令和3年6月5日（土）	陸上	岩手県営運動公園
	フライングディスク	
	卓球	ふれあいランド岩手
	アーチェリー	
	水泳	
		ボウリング

- ・スポーツ団体等における障がい者スポーツ推進事業
競技スポーツ団体、レクリエーション団体、総合型地域スポーツクラブから4団体に委託
- ・障がい者スポーツ用具活用事業
子ども用スポーツ車いすを活用したスポーツ教室の実施
- ・パラリンピック選手等育成・強化事業
強化指定選手及び介助者の遠征経費等
- ・いわてパラアスリート発掘・育成事業
参加者公募による選手発掘体力測定会、年間3回の全体研修、3団体による競技別実技研修
- ・デュアル・アスリートプロジェクト事業
いわて障がい者スポーツ強化指定選手、いわてパラアスリート発掘・育成事業参加選手等を対象に冬季パラリンピック等競技種目の練習を実施
(令和3年度：車いすカーリング、スキー競技)
- ・パラスポーツギア購入・整備事業
高性能なパラリンピック競技用具等を購入・整備
(令和3年度：ボッチャ競技用具（最も障がいの重いクラスの選手専用）投球台（ランプ）、ボール、ヘッドポインター)
- ・パラアスリートコーディネーター派遣事業
選手の所属先や居住地域の体育施設等への巡回訪問による練習環境の整備

生涯学習文化財課

- ・人づくり・地域づくり関係職員等研修講座（中部地区）

令和3年7月2日（金）生涯学習推進センター 参加者9名

講義

「誰もが」共に学び続けるための「障がい」理解～知的障がい者への支援事例から学ぶ～

講師 花巻市健康保健福祉部障がい福祉課
基幹相談支援センター 上席主査 佐藤 峰子 氏
社会福祉法人光林会
地域生活支援センターしおん 地域支援係長 横澤 亜弓 氏

演習

「ボッチャ体験」

講師 県スポーツ振興課 主査スポーツ振興専門員 菊池 大輔 氏

意見・感想交流

「誰もが」共に学ぶ場づくりに向けて

- ・人づくり・地域づくり関係職員等研修講座（宮古地区）

令和3年7月27日（火）宮古市地域創生センター 参加者32名

演習

「ボッチャ交流」

講師 県スポーツ振興課 主査スポーツ振興専門員 菊池 大輔 氏

講義・交流

「誰もが共に学び生きるための合理的配慮」

講師 宮古圏域障がい者福祉推進ネット 相談支援専門員 栗津 優 氏

- ・人づくり・地域づくり関係職員等研修講座（県南地区）

令和3年10月8日（火）一関地区合同庁舎 参加者14名

講義

「誰もが」共に学び続けるための「障がい」理解

講師 社会福祉法人一関市社会福祉協議会 一関障害者生活支援プラザ
相談支援専門員 小野寺 伸 氏
社会福祉法人仁愛会 仁愛会障がい者相談支援事業所
主任相談支援専門員 佐々木 一貴 氏

事例発表

「障がい者の生涯学習活動支援事例」～アート活動を通じた障がい者の学びとつながり～

講師 地域活動支援センター 工房てんとうむし 所長 木村 静恵 氏

意見・感想交流

「誰もが」共に学ぶ場づくりに向けて

- ・人づくり・地域づくり関係職員等研修講座（県北地区）

令和3年11月12日（金）久慈地区合同庁舎 参加者16名

講義

「誰もが」学び続けるための「障がい」理解

講師 久慈拓陽支援学校 教諭兼指導主事 梅野 佳和

事例発表・演習

「障がい者の生涯学習活動支援事例」～卓球バレーをとおした共に活動する場づくり～

講師 久慈市卓球バレー協会 会長 新里 周一 氏
副会長 類 家 勉 氏

- ・人づくり・地域づくり関係職員等研修講座（沿岸南部地区）
令和3年11月30日（火）大船渡市三陸公民館 参加者8名
演習
「ボッチャ交流」
講師 県スポーツ振興課 主査スポーツ振興専門員 菊池大輔氏
講義
「誰もが」共に学び続けるための「障がい」理解
講師 社会福祉法人大洋会 障がい者・児童支援専門員
地域活動支援センター星雲 相談室 相談支援専門員 菅野大氏
意見・感想交流
「誰もが」共に学ぶ場づくりに向けて
- ・文部科学省主催「共に学び、生きる共生社会コンファレンス」東北ブロック
（「障がい者の生涯を通じた学習活動支援」市町村担当者研修会）
令和4年1月15日（土）陸前高田市民文化会館 会場定員200名（オンライン視聴可）
全体会
メッセージ 「陸前高田市がめざすまち」 陸前高田市 戸羽太市長
特別公演 ヴァイオリニスト・文部科学省スペシャルサポート大使 川島成道氏
分科会
 - ① 文化芸術を通じた障害者の生涯学習 ～地域と溶け合う学びに向けて～
 - ② 障害者の生涯学習を支える取組 ～岩手県内の障害者アート・スポーツ活動～
 - ③ 陸前高田市で実践する持続可能な取組 ～SDGs 未来都市で推進する障害者の生涯学習～

保健体育課

- ・オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業
〔小学校〕 盛岡市立仙北小学校、盛岡市立山王小学校、北上市立黒沢尻西小学校、
釜石市立鶴住居小学校、宮古市立花輪小学校
〔中学校〕 奥州市立東水沢中学校、二戸市立金田一中学校

支える ～教育環境の充実・県民理解の促進～

【成果】

- ・外部専門家・医療等の関係機関との連携等の具体的施策を展開し、多様なニーズに対応した共生社会の理解・啓発や教育環境の整備につなげることができた。
- ・今般の感染症拡大防止策を講じながら、共生社会の実現に向け生涯学習を通じた豊かな生活づくりと相互理解につながる多様な具体的施策を展開することができた。

【課題】

- ・策定した特別支援学校整備計画に基づき特別支援学校の教育環境の整備について着実に推進していくこと。
- ・県民を対象とした公開講座やスポーツ・文化芸術活動に焦点を当てた具体的施策については、その目的に応じて、オンラインの活用を含め、より多くの県民が参加できるよう柔軟に計画していくこと。